

場は、酪農振興のための施設ですが、冬期間はスキー場のロτζジとして利用しています。平成24年に、壁の補修と共にトイレの改修も行いましたが、水道の凍結など冬期間の管理上の問題もあり、水洗化はしませんでした。現在、トイレの水洗化やスペースを拡大する予定はありませんが、今後、産業共進会場の場所や利用方法などを検討していく上で、どのような形にしていけばよいのか考えていきたいと思ひます。



こばやし りゅうせい  
小林 竜聖

**質問要旨** 幌延町から稚内や名寄へ服屋や靴屋、レストラン等へ行くのに1時間以上かかり、多量のガソリンを消費します。あまり遠くへは動けない高齢者や障害者のため、近場にカフェや洋服店などの店を建てることはできないでしょうか。

**答弁要旨** 今の倍以上の町民

がいたところには、数多くのお店とお客さんで賑わっていました。お店をつくることも大切ですが、これ以上幌延から人が減らないように、より住みやすい町にしていかなければならないと考えています。また、新しくお店を始める人や、今あるお店を大きくする人に、町が補助金を出すことで、お手伝いしています。今後、町に賑わいが出るように、地元商店や商工会などと話し合いをしながら、実態にあった対策を考えていきたいと思ひます。



ふじた くみ  
藤 来海

**質問要旨** 紙、ペットボトルプラスチックなどはリサイクル業者にて再利用されていると思ひます。リサイクルすることは環境的にもすぐ良い取り組みだと思ひますが、生ごみについ

ては何か活用されていますか。

**答弁要旨** 幌延町のごみの収集や処分については、西天北五町衛生施設組合という、5つの町が共同で設置した施設で実施しています。この組合が収集している生ごみは、その全てをたい肥として活用しています。作られた「たい肥」は販売しているほか、公共施設や家庭菜園に利用される方には、無料で提供しています。今後ごみの減量化のため、皆さんのご協力をお願いしたいと思ひています。



おの かつひろ  
野 哲平

**質問要旨** 農業ではだんだん若い人が減少してしまい、高齢者が多く働いているので、もう少し若い人たちを増加させた方がいいと思ひます。

**答弁要旨** 幌延町には、毎年学校卒業後に地元へ帰ってくる後継者もいますが、それだけで

は農家戸数は増加しないことから、町外から新しく酪農を始めた人と考えている若い人を募集し、活気あふれる町にする取り組みを進めています。現在、1組のご夫婦が、幌延町で新しく酪農を始めるための研修に取り組んでいます。そういった方が引き続き来てくれるよう、今後も募集を続けていきたいと考えています。



かわかみ みさき  
川 咲美

**質問要旨** 農業が盛んだった富良野町では、台風が来たために、農業の企業が減少してしまいました。北海道の農業を助けるため、幌延町では酪農以外にも農業を盛んにすることはできないのですか。

**答弁要旨** 町では、開拓当時は多彩な作物を生産していましたが、冷害や水害により生活ができない農業者が多くいたこと

から、冷涼な地域でも育つ牧草を原料として、牛乳を生産するよう経営の転換を図り、風土に適した農業として酪農業が盛んに行われるようになりました。

近年は技術が進歩し、家畜ふん尿を利用したバイオガスが生産できるようになったことから、これを熱源に活用した野菜や果樹のハウス栽培の可能性について調査を進めており、基幹産業である酪農業を中心に、そこから生まれる様々な可能性を検討したいと考えています。



あらい りか  
梨 愛

**質問要旨** 北星園を訪問してみてわかりましたが、福祉が充実していると思ひます。しかし、北星園などを行っていますが、町の人が障害を持つ方と触れ合う機会が少ないと思ひます。増やすことで私たちが障害を持つ方へでき